

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童療育支援事業所 ともに		
○保護者評価実施期間	令和7年2月 18日		～ 令和7年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 14日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・異年齢児との交流が多く周囲のお友達からの刺激を受けできなかったことを「やりたい」と感じるようになり成長につながっている。また社会性を養うことにもつながっている。	・お子さんが興味関心を持てる活動の提案。外出やイベント時には上級生と下級生を同じチームにするなど工夫しそれぞれの立場でできることを考えて取り組みを促す。	・学年や能力によつての役割を与え更にモチベーションが上がるような支援を行う。また定期的に同じ活動に取り組むことで前回と比べてどうだったかなど振り返りを行うことで成長への気付きや次回への課題をお子さん自身が気づきやすい。
2	・決められた課題や療育は少ないが「支援を受けている」と気負うことなく学童に来ているような気持ちで通所しているお子さんが多い。	・自由に過ごす中でもやらないといけないことは取り組み行動の優先順位をわかりやすく提示するようにする。自由に過ごす中でお友達との関わりや職員との関わりを通して社会生活行動が身につくように支援を行っている。	・お子さんに選択肢を与えることで活動への意欲が高まるように支援を行う。学年や能力によって難易度を変えることでのお子さんも「できた」と実感ができるような支援を工夫している
3	・多様な活動の提案ができています	・スタッフやお子さんからの意見は可能な限り取り入れ活動プログラムの提案にいかせている。自分の希望が叶うという実感からモチベーションアップに繋がっている。	・提案を出し合う中で各自が責任を持って取り組めるように促す。ヘルプを出しやすいように体制を整えどうすればしたいことの実現が可能かを周りが一緒に考える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ここに特化している売りはない	・運動や学習、音楽などの特化した療育は行っていないのでおこさんやご家族に明確な療育の目的がある方にはむいていないかもしれない	・今後の療育の中で必要であればセラピストなどの職員の補充を検討する
2	・地域に開かれた事業所を目指しているが周知はできていない	・地域のお子さんが遊びに来れる体制や交流のための公園外出などを行っているがまだ実感としては少ない	・地域の保育園や小学校へのお知らせの機会などの検討
3			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2025年03月13日

事業所名：多機能型児童療育支援事業所 ともに

対象人数（保護者）26人 回答者数 22人 回収 84.6%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1			庭もあり元気に遊んでいる様子	お子様の活動に必要なスペースの確保はできております
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			1		常時3名以上の有資格者（社会福祉士 保育士など）を配置しております
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			2		掲示物にてお知らせしておりお子様がわかりやすく利用できるように配慮しています。玄関と庭に降りるデッキには段差がありますが他はバリアフリーとなっています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22					
適切	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					集団療育ですのでその日のお子様のコンディションに合わせて支援を行ってまいります
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1				調査シートの活用など今後も続けてまいります。面談も随時対応できますのでご希望の方はお申し付けください

な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1		支援計画についてはお子様やご家族のニーズに合わせて作成しておりますがご意見等ありましたらお話しください。修正も可能です
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					今後も継続してまいります
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1			季節の制作やイベントを工夫してくれている	お子様に興味関心を持ってもらえる活動の工夫を今後も継続してまいります
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	1	8	地域のお友達が遊びに来て一緒に遊んだと聞きました。	地域のお子様も遊びに来られる場所ですが周知がされていなかったです。校区のお子様で遊びに来てくれるお友達もいます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1		4	あるのかもしれないが参加したことはない	ご希望に応じて対応させていただきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22					

保護者への説明等

16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1		定期開催は現在行えていませんが希望に応じて対応させていただいております
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	1		2	毎年のハロウィンのイベントは家族で参加するのを楽しみにしています。	現在父母の会は設立されておらず機会はありませんが家族、兄弟参加型のイベント等今後も開催をしております
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	親の仕事の都合で早い時間から利用したいときに対応してくれて助かった	お子様やご家族からの苦情やご意見に迅速に対応し担当者から連絡をさせていただきます
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22					
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1		各お子様の情報はファイルにまとめ鍵のついたキャビネットに保管しております。また不要な書類はシュレッダーにて処理を行います。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			2	避難訓練では消化器の使い方を習ったそうです	各マニュアルは事務所入口に開示しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		4	避難訓練にまだ参加したことがない	訓練は定期的に行っておりますのでお子様の通所日程に併せて活動スケジュールを組むことも可能です
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			1		契約時にご説明させていただいておりますがご不明な点はどうぞお尋ねください
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	21			1	子どもが擦り傷をしたときに記録での説明と送迎時にも話をしてくれた	発生がないように心がけておりますがそのような場合は担当者と当該職員で十分に説明と対応をさせていただきます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	1	1	デイの利用日は朝から楽しみにしています。	今後もお子様が楽しみながら成長できる場として支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			家では宿題も怒ってできないがデイで終わらせてくれるのでありがたい	今後もお子様の将来を見据えた支援を継続してまいります。満足していただけるよう職員一同努力してまいります。

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型児童療育支援事業所 ともに
------	-------------------

公表日 令和 7年 3月 14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	適切なスペースが確保されている 庭も室内も広いほうだと思う	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	適切に配置されているが重度の児童が多い時にはプラス人員の確保も必要だと感じる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	玄関には段差はあるが廊下も広く車椅子でも受け入れができる体制を取っている 今年度さらに屋外のコンクリート工事を行い受け入れやすく改築した	庭へ出るウッドデッキは段差が高く注意が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日次亜塩素酸水での消毒を行ない清潔に保つことを心がけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要時はどの部屋を使用しても構わない体制が取れている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	全職員に共有できるツールがある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	改善できるよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員回を定期に開催し意見交換ができています 出た意見はその都度検討し改善できるよう努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	関係各所からのご意見はその都度検討し業務改善につなげる努力はしている	第三者評価を設けていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修には参加できる機会を設けており希望する研修も申し出れば参加できる	

適切な支援の提供

11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	されていると思う	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者ニーズだけでなく児童にもできる限りアセスメントを行なっている	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	全員の意見が反映される体制をとっておりいろいろな目線での検討ができています	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	HUGでいつでも確認ができ計画に沿った支援を心がけている	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	確認できる体制作りがされている	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	今年度より内容を変更し取り組んでいる	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	全職員の意見を反映し行なっている	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節の行事や児童の意見も反映し工夫しながら行なっている	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	基本的には集団療育だが必要に応じて個別活動も取り入れている お子様の状況により臨機応変な対応ができています	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	ラインなどを活用し毎日必要な情報共有はできている	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	勤務時間が変速のため全員が集まることはないがラインなどを活用し毎日必要な情報共有はできている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必ず記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	モニタリング時期以外にも必要時には見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	必ず参加している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	可能な限り選択の場を与えより良い決定ができるよう支援を心がけている 必要時には連携しながら支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児発管が参加できるよう日程を調整している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	送迎などの時間も含め情報共有ができるよう努めている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	毎月協力が得られる学校が多く調整できやすい環境にある	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	支援会などを通じて情報共有を行ない今後の支援に活かせるように努めている 年長児は放デイ移行への調整も進めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	支援会などを通じて行ない必要時には情報提供も行なっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	研修や必要時には電話連絡にて助言を頂く機会がある	相談支援とは連携が取れているが児童発達支援センターとの共有は機会がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	地域のお子さんが遊びに来られる体制にしている 公園外出の際などに地域との交流を図っている	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	協議会主催の研修等には可能な限り参加している	参加できる職員から順番に参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	情報共有できるツールの利用や送迎の際に直接保護者の方と話ができる機会がある	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	情報提供等の外部研修の案内は不定期で行なっている	事業所内の保護者対象の研修等はまだ開催したことがない
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約の際に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	必要時には情報収集を行ない意思を尊重したサービス提供に努めている また保護者だけでなく児童の意見も取り入れることを意識している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	同意を得ている 保護者もアプリ内でいつでも確認ができ意見を出しやすい体制にしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	可能な限りは利用時間外の対応も受け付け必要時には職員間での共有もしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	年に数回保護者やきょうだい児童が参加できる機会を設けるよう活動プログラムを作成している	父母の会は結成されていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情はないが、日々対応できるような体制は整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月手紙の発行を行い活動の様子を伝えている ホームページへの掲載、日々の活動記録での発信を行なっている	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	全職員が共通理解を持ち留意している		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	常に配慮するよう心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	年に数回利用者や地域の方が参加できる機会を設けるよう活動の準備をしている	案内はしているが参加の実績はない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	いつでも見ていただけるよう玄関に置いている 定期的に見直し訓練している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	作成済み 定期的に見直しや訓練している 地震や火災など色々な想定のもと訓練ができています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	利用毎に確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食事提供はしていないがおやつ等は配慮している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	車両の置き去り防止装置を設置したりチェックシートを用いている セコムも取り入れ安全に努めている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	家族への周知は不十分な面もある が必要時には連携が図れる体制は整えている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	全職員で共有、検討を行なっている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎月全職員で委員会を開催し検討している その他外部研修にも可能な限り参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	毎月全職員で委員会を開催し検討している 必要児童には保護者の同意を得ている		